



全苗連だより

Vol. 13 (9月号)

平成27年9月11日

発行：全国山林種苗協同組合連合会

Tel.03-3262-3071 Fax.03-3262-3074

全苗連生産者の集い 北海道で盛大に開催されました

51名を表彰・決議文の採択・記念講演会・現地研修会などを実施

全苗連の生産者が集う大会として、これまでの全苗連大会を模様替えした『平成27年度全苗連生産者の集い』が9月8日(火)から9日(水)の二日間、北海道札幌市と十勝管内幕別町で盛大に開催されました。

開催に当たり、ご尽力いただいた皆様に感謝申し上げます、その内容を次のとおり報告いたします。

【生産者の集い】(初日の9月8日開催)

札幌市の「かでの2・7」のホールに約350名が参加し、鹿児島県苗組の能瀬順子さんの司会で始まり、岸紘治北海道苗組理事長が開会のことばを述べ、太田清蔵全苗連会長、北海道知事(代理:荒川裕生副知事)の挨拶に続き、林野庁長官(代理:黒川正美北海道森林管理局長)、佐藤重芳全森連会長、竹内英順林業活性化地方議員連盟・全国連絡会議会長から祝辞を受けた後、全国山林苗畑品評会・山林種苗等生産事業功労者等の表彰が行われ、51名の方が表彰されました。受賞者を代表して、北海道苗組の平川昌昭さんが謝辞を述べました。

全国の苗木生産者が一堂に会したことを一層有意義なものとし、関係方面に広くアピールしていくために、生産者の集いの決議文の採択が行われ、満場一致で採択されました。

第2部は、北海道立総合研究機構林業試験場の黒丸亮氏による「北海道における林木育種と種苗生産の今」と題する記念講演が行われました。

また、同日午後6時から、国会審議のため、到着が遅れていた今井敏林野庁長官はじめ、沢山のご来賓にも出席していただき、「札幌ガーデンパレス」で【情報交換会】が和やかに開催されました。

【現地研修会】(翌日の9月9日に実施)

午前中貸切バスで移動し、午後1時から十勝管内幕別町の(有)大坂林業の苗畑において開催され、参加者約220名が3班に分かれて、コンテナ容器への培土充填・植え穴開けの機械化、トドマツ・アカエゾマツ・カラマツの圃場管理等について説明を受けた後、活発な質疑・意見交換を行いました。

来年度の林野庁予算概算要求・・・最重点事項は「次世代林業基盤づくり交付金」

林野庁は8月31日に、要求総額約3,429億円の平成28年度予算概算要求を財務省へ提出しました。「次世代林業基盤づくり交付金」には200億円(前年度27億円)が計上されており、都道府県を通じて事業者へ交付されます。コンテナ苗生産施設等の整備への支援拡充が期待できます。次号で詳しくお伝えします。

[別紙 1]

平成 26 年度 全国山林苗木品評会 受賞者名簿

【農林水産大臣賞】(6名)

有限会社小野種苗緑化園(北海道) 佐藤 孝吉 様 (秋田県) 岩田 好雄 様 (群馬県)
村井 義明 様 (三重県) 清川 隆信 様 (広島県) 熊本 廣文 様 (福岡県)

【林野庁長官賞】(18名)

古瀬 清一郎 様 (北海道) 本宮 直人 様 (岩手県) 吉田 正平 様 (岩手県)
佐藤 靖 様 (宮城県) 渡部 義直 様 (秋田県) 佐藤 孫一 様 (福島県)
花野 英三郎 様 (新潟県) 笹嶋 清勝 様 (茨城県) 稲田 満 様 (茨城県)
森戸 良樹 様 (栃木県) 町田 憲司 様 (神奈川県) 川口 源治 様 (和歌山県)
白根 暢之 様 (鳥取県) 細川 努 様 (岡山県) 小林 由隆 様 (岡山県)
中原 昭祐 様 (山口県) 桑原 浩 様 (高知県) 椎 高偉 様 (宮崎県)

【全苗連会長賞】(2名)

町田 好彦 様 (栃木県) 榎並 睦男 様 (鹿児島県)

平成 27 年度 山林種苗等生産事業功労者 受賞者名簿

【林野庁長官感謝状】(9名)

谷口 功 様 (北海道) 小寺 敏隆 様 (北海道) 木村 重成 様 (青森県)
小坂 正彦 様 (岩手県) 神戸 直日 様 (長野県) 渡部 勝 様 (島根県)
新田 猛 様 (徳島県) 藤田 徹 様 (愛媛県) 佐々木 正直 様 (福岡県)

【全苗連会長賞】(9名)

高田 拓実 様 (北海道) 菅 忠一郎 様 (秋田県) 森戸 良樹 様 (栃木県)
池田 正人 様 (群馬県) 百瀬 直明 様 (長野県) 小田 一正 様 (広島県)
野口 利浩 様 (福岡県) 西門 泰人 様 (熊本県) 穴井 俊一朗 様 (大分県)

平成 27 年度 永年勤続常勤役職員表彰 受賞者名簿

【全苗連会長賞】(7名)

松浦 一雄 様 (北海道) 山田 明大 様 (北海道) 矢野 幸二 様 (北海道)
今 直樹 様 (北海道) 田中 真吾 様 (北海道) 黒澤 清隆 様 (北海道)
渡辺 裕之 様 (北海道)

[別紙 2]

苗連生産者の集い決議

我が国の森林は、国土の保全、水源のかん養、地球温暖化防止など多様な機能を有し、緑の社会資本として国民生活にとってかけがえのない重要な役割を果たしているが、我が国の人工林は、若齢林分が極端に少ないという年齢構成にあり、このまま推移すれば、森林の公益的機能の発揮に支障が生じることが懸念され、森林・林業が着実に発展していくための森林整備や木材利用促進を政府の経済政策の重要課題として位置づけ、拡充・強化していくことが望まれる。

最近における森林・林業を取り巻く状況は、国産材の利用拡大や木質バイオマスの利用拡大の推進により、伐採量が増加傾向にあり、これに伴い、苗木需要量が急増すると見込まれる中で、花粉症対策苗木の供給拡大や低コスト造林推進のためのコンテナ苗木への期待が高まっている。

我々、全苗連の苗木生産者は、優良苗木の安定供給に大きな使命感を持っており、行政機関による苗木需要の見通しや需給調整機能の充実、苗木の予約生産・販売体制の構築と大量供給に資する苗木生産施設の整備及び苗木生産の元となる種子・穂木の安定供給体制の確立に向けて国の強力な支援を求めるとともに、新規参入者を含めた後継者育成に努め、かつ、育苗技術の向上等を目指していく所存である。

ここに、林業の成長産業化に向けた施策の推進、森林吸収源対策の一層の充実・強化がなされ、森林整備の基礎資材である優良苗木の持続的・安定的生産が可能となるよう、下記事項の実現について強く要望する。

記

- 一、林業の成長産業化に向けた森林整備施策の拡充と安定的財源確保を図ること
- 一、伐採・更新ルール徹底と適正な皆伐再造林による苗木需要の喚起を図ること
- 一、奥地水源地域、施業放棄地等における公的主体による森林整備の推進を図ること
- 一、海岸防災林の再生など東日本大震災からの早期の復旧・復興を図ること

平成27年9月8日

平成 27 年度全苗連生産者の集い

全苗連・苗組の行事予定

- 10月4日 山口富治氏(前神奈川県苗組理事長)叙勲受章記念祝賀会(神奈川県秦野市)
- 11月10日 北海道・東北地区林業用優良種苗需給調整協議会(宮城県仙台市)
- 11月12日 東海・北陸地区林業用優良種苗需給調整協議会(岐阜市)
- 11月20日 近畿地区林業用優良種苗需給調整協議会(和歌山市)